

解体予定建物を活用した消防活動訓練を実施

吉川松伏消防組合では、令和6年12月11日、12日、16日の3日間で、解体予定施設（栄学童教室）を活用した消防活動訓練を実施しました。

この訓練は、工事関係企業である株式会社日の出建設と吉川市役所の協力を得て、災害活動時における効果的な資機材の取り扱いとドア開放や破壊活動に必要な知識・技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、普段の訓練では実施困難な壁面の破壊やドア開放、切断訓練を実施したほか、火災検索救助訓練、ファイヤーファイターサバイバル（緊急脱出）訓練、ラダーレスキュー訓練も併せて実施し、現場経験の少ない隊員の知識・技術の向上に繋がる訓練ができました。また、各隊間の連携強化を図ることができ、非常に有意義な訓練となりました。今後も、実践的な訓練を継続し、災害対応力の向上に努めてまいります。

1 破壊及び緊急脱出訓練

この訓練は、建物火災の消火活動時、残り火を見逃さないために壁面や天井等を破壊し、内部状況を確認することや緊急時の進入口や脱出口の確保を行うために実施したものです。



・大型ハンマーで壁面を破壊する様子



・緊急脱出口を確認する様子



・緊急脱出の様子



・ドアを切断し、開口部を設定している様子

2 屋内検索訓練

この訓練は、建物火災に進入し、消火活動と並行しながら、居室内に取り残されている要救助者を検索、救助する訓練であり、実災害では最も危険な活動となります。



・隊長から活動下命を受けている様子



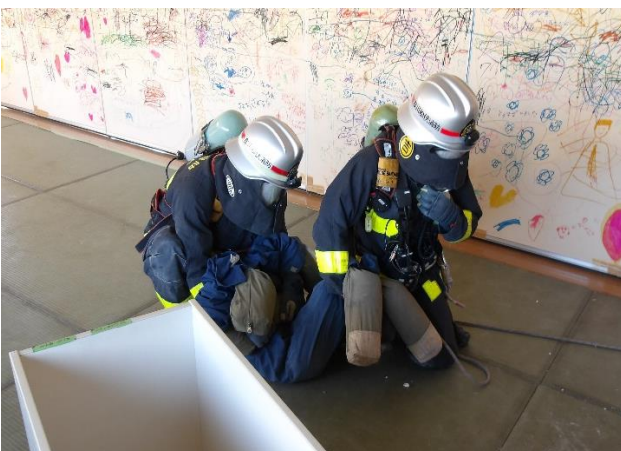
・ロープを繋いで検索をしている様子



・居室内の延焼状況を確認する様子



・要救助者を発見した様子



・要救助者の状況が無線報告する様子



・救出及び脱出に向かう様子

3 ラダーレスキュー訓練

この訓練は、低所への転落事故が発生した際、消防車に積載している「かぎ付き梯子」や「三連梯子」、「救助ロープ」等を活用し、要救助者を安全な場所に救出する訓練です。なお、様々な器材を活用し救出するため、高い救助技術が必要となります。



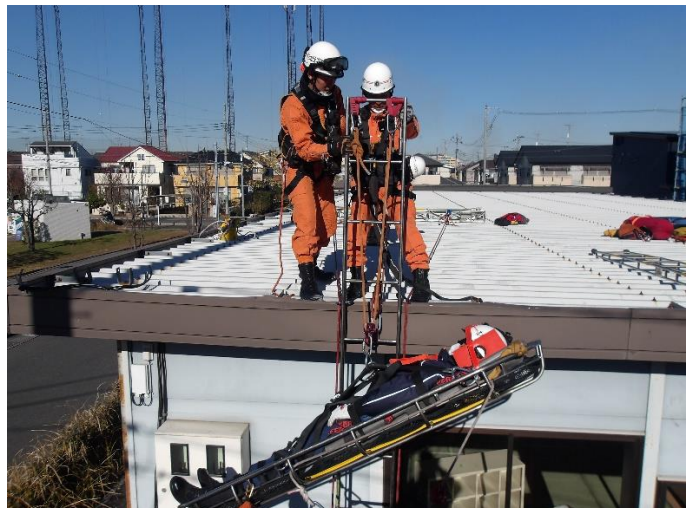
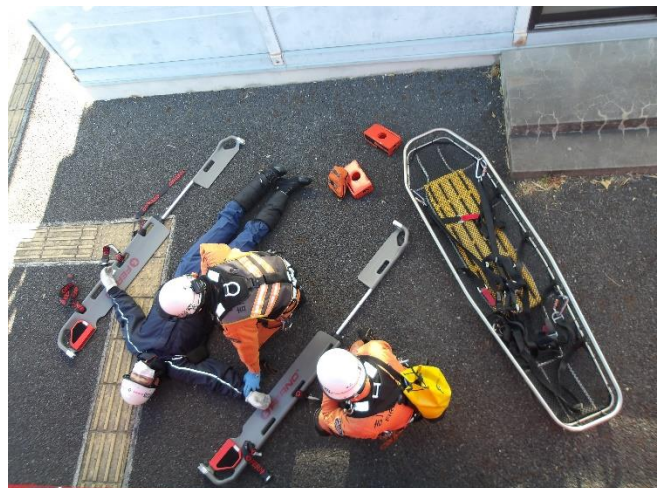
・ 上部から現場状況を確認する様子



・ 要救助者のもとに進入する様子



・ 転落した要救助者の負傷状況を確認し、救出準備をする様子



・ 担架に要救助者を収容し、ロープで引揚げ上部に救出する様子



・ 要救助者を引上げている様子



・ 隊員を引上げている様子



・ 隊員が脱出完了する様子



・ 訓練終了後の記念撮影（訓練隊員のコメント）

普段の訓練よりも、実災害に近い環境で訓練が実施でき、隊員間の連携をより深めることができました。今後とも、私たち消防は市町民の安心・安全確保のため、日々精進してまいります。

